

アブラギリ

[木本] 《忌避》



林縁などで大きくなっているものは多い。



花序と卵形の葉。



3裂している葉。

区別のポイント

葉は卵形または浅く3裂し、基部は心形。枝先に円錐花序を出し、白い花を付ける。雌雄同株。雌雄異花。花序の中で雌花はほんの数個。

形態 落葉高木。高さ 15m。中国南部原産とされるが、在来種説もあり。林縁や伐採跡地によく見られる。

分布 本州（中部地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 種子から油を取り、桐に似た樹の意。

葉 **〈全体〉**長さ 12 ～ 20 cm、幅 8 ～ 16 cm の卵形～広卵形。紙質。浅く 3 裂するものもある。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉長さ 6 ～ 12 cm で紅色を帯びる。

〈基部〉心形。表面に柄のある腺が 2 個ある。**〈葉先〉**尖る。**〈縁〉**鈍鋸歯。

備考 有毒：脂肪油、エレオステアリン酸。食べるとの情報があるが、まれ。好んで食べない。むしろ不嗜好種と見られる。

出典 4, 15, 26